

鈴木いくお

《発行者》鈴木いくお 市議会議員 TEL & FAX.429-2833



公共交通不便地域とその対応について

質問

バス実証実験を経て本格運行に移った丸山地区・八木が谷地区・田喜野井地区の新規バス路線で、八木が谷地区と田喜野井地区に関しては、まだ採算がとれていない状況。安定的な運行の取り組みやさらなる利用促進が必要であるがその施策についてどのように考えているのか？



回答

利用促進には地域住民の協力が不可欠であり、町会や自治会などに現状をお伝えした上で利用促進を呼びかけてもらうと共に、そのほかの方策についてバス事業者も交え、検討してまいります。



質問

重点地区の1つ、旭町・上山町地区で乗り合いタクシーによる実証実験をおこなったが、目標より大幅に利用者が少なかったのが事実上、廃止である。しかしながら、馬込沢方面や大型商業施設への要望があるが交通不便地域を解消するためには、運動公園・・・啓明高校・・・馬込沢・・・鎌ヶ谷大仏行きが通れば大きく解消されると思うが、市のご見解を伺う。

回答

運動公園から啓明高校を經由して、木下街道に抜ける路線バスの運行については、いろいろな課題がございますが、当該路線が確保されれば、旭町・上山町地区の一部分の公共交通不便地域解消につながる可能性があることから、バス事業者と相談してまいります。



犬の対策について

質問 ①ドッグランについて

北部・中央部・南部に3カ所のドッグランが必要である。北部はアンデルセン公園にあり、中央部については長津川親水公園に設置してはどうか？

回答

長津川親水公園は、雨天時に一時的に雨水をためる河川施設であり困難。アンデルセン公園のように他の利用者と分離ができ、トラブル防止等のための管理人の配置が必要。今後、このような条件を満たす公園があれば検討します。

質問 ②ふん害について

今までのフェンスに取り付ける『ふん防止プレート』に効果があるのか？

回答

一定の効果はあるが、根本的な解決になっていない。



質問

ふん放置、おしっこ垂れ流しなど、飼い主の啓発はしているのか？

回答

飼い主のモラルが原因であるが、新しいチラシが完成し犬のしつけ方教室・イベント・動物病院等での配布等により、啓発に努めています。

質問

イエローカード作戦という効果的な方法を取り入れるべきではないか？

回答

飼い主の良心に直接的に訴える有効な手段と考えることから、他市の事例等を調査してまいります。

質問 ③補助犬について

補助犬の利用実態、どのような周知をしているのか？

回答

千葉県では、盲導犬35頭・介助犬2頭・聴導犬2頭であり、そのうち本市は、介助犬1頭である。PRビデオやパンフレット配布等で周知している。

質問

90%が寄付金で賄われているが、募金箱の設置を？

回答

今後も、各窓口の目立つ場所に設置するなど環境づくりに努めます。



《主な市政報告を掲載いたしました。ご意見・ご要望は、鈴木いくおまで》